

株式会社 野上技研



代表取締役
野上 良太

茨城県
常陸大宮市泉1136-3

1970年(昭和45年)設立
0295-53-2188

<http://www.nogami-gk.co.jp/>

多様な精密加工を支える
高い研削加工技術

創業時より培った研削加工技術を基に、精密刃物・各種超精密治具・金型等の製作やプレス加工を行う。ワイヤーカット加工後、研削加工を行うことで、より高い精度を追求し、耐久性向上や品質安定等を実現。

超精密研削加工でより高い精度を追求

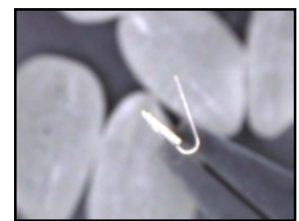
同社が創業時から培ってきた超精密研削加工技術が、精密刃物、精密プレス部品、超精密治具・金型の高精度な製品製作を可能にする基盤となっている。平行・直角精度は10,000分の5mmと比類のない精度を保証。これらの技術は、大手工作機械メーカーにも認められ、標準バイスに採用されている。液晶テレビ・プラズマテレビには同社の技術が不可欠で、他にも自動車・電子・二次電池・医療・食品など幅広い業種で同社が製作した精密切断治具・金型が活用されている。



平行・直角精度
10,000分の5mmの
直角・平行マスター

難易度の高い精密プレス加工に積極的に取り組む

同社は、ゴマ粒大の順送金型内複合部品や微小、極薄材、特殊材など難易度の高いプレス製品に積極的に取り組むとともに、常に技術開発に挑戦している。また、顧客の製品開発段階から、これまでの豊富な経験に基づいた最適な提案を行っている。高度な設計力と熟練の精密加工技術を融合させ、ミクロン精度の金型を製作、加工時の問題を最小限に抑えた高品質な製品を製造している。



順送金型内 複合プレス品

精密抜き・精密切断治具の設計・製作

同社では、顧客の使用用途に合わせた、オーダー治具も製作。高精度かつ長寿命の各種加工治具や検査治具・ゲートカット治具など、デザインや材質の選定、機構から安全性までを考慮し提案。極少クリアランスで仕上げられた精密抜き治具は、金属箔やフィルムなどを「バリ」や「変形」なく精密に打ち抜く事が可能。



TABテープ精密編集器